

宮内大悟医師、富田哲也放射線診療技師、兼子英恵看護師が 「第14回茨城放射線腫瘍研究会」にて優秀演題賞を受賞

茨城県内の放射線治療の発展を目的に放射線治療に従事する医師や看護師、技師等で組織される「茨城放射線腫瘍研究会」の第14回大会にて、宮内大悟医師、富田哲也診療放射線技師、兼子英恵看護師がそれぞれ優秀演題賞を受賞しました。

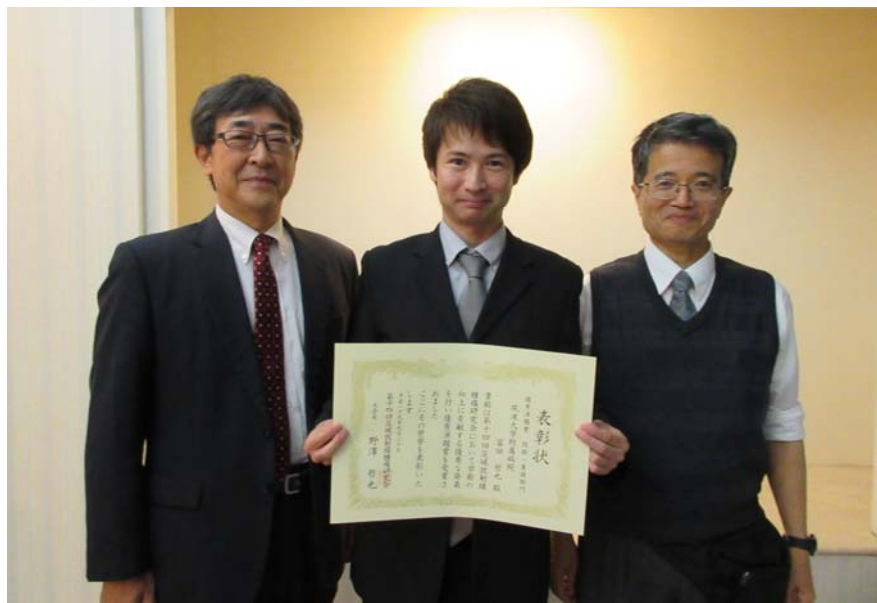
今後も県内の放射線治療の発展に向け、大学附属の医療機関ならではの高度な治療の検討とともに、県内放射線腫瘍医、医療従事者との連携強化を行ってまいります。

医療部門「子宮頸癌に対する術後放射線治療の予後因子解析」



右：筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 櫻井英幸教授 左：宮内大悟医師

技術部門「皮膚線量分布図の作成」



左から、櫻井教授、富田哲也診療放射線技師、榮教授

看護部門「放射線皮膚炎に対する外来での継続的な取り組み」



上段左から、鈴木看護師、早川看護師、櫻井教授、花和副看護師長、北島看護師、松嶋看護師長
下段左から、兼子看護師、鮎澤看護師、銭谷看護師